

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 2 日

評価対象事業	文観 - 40	各種スポーツ行事事業	☐ 法定受託事務
所管課	文化観光部 スポーツ課		評価者 スポーツ課長 徳田 亮祐
一般	会計	款 55	項 25
目 5			
総合計画上の位置付け	分野名	ひとの共創	施策の方針名
スポーツ・レクリエーション			

1 事業の目的

対象	市民等	意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため
効果	市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する		

2 事業工程と運営資源配分

☒ 単年度事業
 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度）
 ☐ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・スポーツ行事開催事業 ・ジュニアアスリート育成事業	・スポーツ行事開催事業 ・ジュニアアスリート育成事業	・スポーツ行事開催事業 ・ジュニアアスリート育成事業
予算額（千円）	12,336	12,224	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	12,336	12,224	0
当初人員配置数	1.9	1.7	0.0
人件費（千円）	12,642	11,334	0
事業実績	・各種スポーツ事業参加人数 ・トップアスリートとの交流事業（参加人数）		
決算額（千円）	10,846		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	10,846	0	0
人員配置実績数	1.7	0.0	0.0
人件費（千円）	10,630	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	委託等によるスポーツ行事の参加人数(延べ)	人	29,631	7	38,424		
	実績につながる活動	スポーツ関係団体へスポーツ行事の開催の委託を行う。				10,498		
活2	指標名	委託等によるスポーツ行事の開催回数	回	47	7	47		
	実績につながる活動	スポーツ関係団体へスポーツ行事の開催の委託を行う。				10,498		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	スポーツ行事の開催回数は前年度と同様であったが、委託先のスポーツ行事の内容の工夫に加え、天候に恵まれたことにより参加者が増加する結果となった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	鎌倉市（鎌倉市スポーツ協会なども含む。）主催のスポーツ競技会、スポーツ教室などのスポーツイベントへの市民の参加割合	%	16	50	22			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	スポーツ行事の開催回数は前年度と同様であったが、委託先のスポーツ行事の内容の工夫に加え、天候に恵まれたことにより参加割合が増加することとなった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	活動結果指標の改善は成果指標の向上に概ね結び付いていることから、本事業は市民参加の促進に一定の寄与をしている。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出していない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
方向性	公平性	受益者負担	■ 導入済	□ 導入予定	□ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	■ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済 ⇒	□ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大 □ 縮小 □ その他	
		□ 事業を休止又は廃止済	□ ③ 事業は休止又は廃止する		
方向性		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持	■ ① 予算規模は現状維持とする		
		□ 予算規模は拡大済 ⇒	□ ② 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ③ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	スポーツ行事の内容の工夫により参加者は増えたが、さらに市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、指導者育成にも取り組んでいく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		本事業の主なイベント数などは、自治体の規模や地域特性など、同条件での比較が難しく、他市比較によるベンチマークは適切でないため。							